

会 議 結 果

会議名	令和元年度 第1回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	令和元年6月12日(水) 午前10時15分～12時00分
場所	西尾市役所 1階 多目的室
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員16名 事務局4名 (欠席：古田靖雄委員、河合貴夫委員)
傍聴者	5名
議 事	<p>1 開会・あいさつ</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・配布資料確認 ・委員委嘱について <p>○小川委員(中部運輸局愛知運輸支局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「活発で良い議論ができる会議のために。」により説明。 ・分からないことの質問でもよいので、たくさんの意見の出る会議にしてほしい。 ・各委員の役割を意識して議論に参加してほしい。 <p>2 議題</p> <p>(1) 役員の改選について(協議事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任期満了に伴い役員についても改めて選任させていただく。意見等がなければ事務局案を提示させていただきたい。 <p>◎全会一致で事務局案を承認。</p> <p>会長：石原要之輔氏、副会長：松尾幸二郎氏・山崎隆文氏、監査委員：颯田洪氏・岡田武宏氏</p> <p>○石原会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続きご推挙いただいたが、会長職は大きな責任がある。日常生活を支える市民の足を合理的に築いていけるよう努めたい。今年はバス交通再編という大きな仕事がある。この協議会で意見を出し合い、効率の良い交通システムを築きたい。 <p>(2) 市内公共交通の平成30年度実績について(報告事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1により説明。 <p>○小川委員(中部運輸局愛知運輸支局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東廻り線「ホワイトウェイブ」にて夏場に乗客が多く、乗りこぼしがあったとのことで、何か対応はしたか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗りこぼしは数件あった。今までは特に対応していないが、バス交通再編時に併せて対応していきたい。 <p>○松尾副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1の7ページ、いこまいかーの利用実績について、「行きのみ」の利用が多いのはなぜか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いこまいかーは1時間前までに予約が必要。買い物は帰りの時間が予測できるが、病院は終わる時間が読めないことが多い。その場合、帰りはタクシーを利用していることが考えられる。

また、稀に帰りのみ家族が迎えに来ているということもある。

(3) 平成30年度収支決算について（協議事項）

○事務局

- ・資料2により説明。
- ・監査の結果、適正に執行されていたことが認められたと報告。

◎議題（3）について全会一致で承認。

(4) 令和元年度収支予算案及び事業計画案について（協議事項）

○事務局

- ・資料3により説明。

◎議題（4）について全会一致で承認。

○松尾副会長

- ・東廻り線「ホワイトウェイブ」での乗りこぼしの対応について。乗りこぼしがあると、バスのイメージダウンが大きい。せっかくバスに乗って出かけたのに、次のバスまで長い時間待つことになる。特例で今年何か対応できないか。

○事務局

- ・近隣市ではタクシーにより対応しているところが多い。六万石くるりんバス事業者とよく相談して検討したい。

(5) 公共交通意見交換会の開催について（報告事項）

○事務局

- ・資料4により説明。

○小川委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・開催時間がすべて日中の時間帯ばかりであるが、日中に来れない方のために夜間の時間帯の検討もお願いしたい。

○事務局

- ・夜間の時間帯の開催はないが、メールや電話などで意見を聞くこともある。意見交換会だけでなく、幅広くいろいろな方法で多くの方の意見を受けていきたい。

○小川委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・名鉄東部交通バスの廃止2路線について、六万石くるりんバスに取り込むと路線が長くなる。事業者とよく調整してほしい。また、道路運送法上の手続きも必要になるため、早めのスケジュール感で進めてほしい。

○事務局

- ・単純に六万石くるりんバスに取り込むと路線が長くなりすぎてしまうので、往復路線にするなどパターンダイヤを崩すことも考えていきたい。その際には、事業者の意見をしっかりと聞きたい。

○岡田委員（西尾市民生委員児童委員協議会）

- ・意見交換会の公募はどのようにしたか。また、各会場30名を想定するのは少なくないか。

○事務局

- ・回覧板やホームページでの周知、民生委員児童委員協議会や包括支援センターなどの各機関にお願いをしている。30名を想定したのは、各小学校区10名×3という計算で、グループワーク形式にしたいため、人数が多すぎると意見が出ないのではないかと思う。また、30名以上いてもいいが、実際の応募状況は多い会場で30名程度である。

○中村委員（西尾市障害者福祉団体連合会）

- ・高齢者の自動車運転時事故が多く問題となっていることも踏まえ、どのような再編を考えてい

るのか。

○事務局

- ・高齢者支援の方法としてはいろいろあると思うが、この協議会で各委員の意見を聞いていきたい。

○安藤委員（愛知県都市整備局交通対策課 代理）

- ・高齢者の自動車運転時事故が多いため、このことに配慮したバス交通再編にしてほしい。

○松尾副会長

- ・ワークショップ形式では、真っ白の紙だと意見が出にくい。たたき台を作り、その路線を評価していくなどすると良いのではないかと。

(6) 地域公共交通確保維持改善事業について（報告事項）

○事務局

- ・資料5により説明。

3 その他

自己紹介

○颯田委員（西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団）

- ・ふれんどバスについて、碧南市との連絡をしっかりと取りながら進めてほしい。

○岡田委員（西尾市民生委員児童委員協議会）

- ・幡豆地区に住んでいる。周りには足がなく困っている人がたくさんいるため、ぜひ幡豆地区の公共交通も便利になってほしい。

○中村委員（西尾市障害者福祉団体連合会）

- ・ユニバーサルデザインタクシーが導入されて喜んでいるが、現在のいこまいかーの制度では近くのバス停までしか行けないため、障害者としては車椅子の乗せ降ろしなどがあり特に効率の悪さを感じる。もう少し便利になると良い。

○近藤委員（西尾市観光協会 代理）

- ・生活交通はもちろんのこと、観光交通にも配慮したバス交通再編としてほしい。

○安藤委員（愛知県都市整備局交通対策課 代理）

- ・「エコモビ推進表彰」チラシの紹介。積極的に応募してほしい。

○小川委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・委員の力を借りて、再編を良いものにしてほしい。また、市内に留まらず、生活圏を考え他市との連携も図ってほしい。

○彦坂委員（愛知県西尾警察署交通課）

- ・高齢者の交通事故が増えているため、バス交通の再編が運転免許証自主返納の推進につながると良いと思う。

○前田委員（愛知県西三河建設事務所）

- ・道路占用やバス路線の延伸に係る手続きについて、確認作業に時間がかかるため早めのスケジュールで進めてほしい。

○村松委員（愛知県タクシー協会 代理）

- ・初めて会議に参加したため良くわからないが、勉強していきたい。

○小林委員（愛知県バス協会）

- ・収支率の悪いバス路線については、市民に実態を知ってもらうことが大切だと思う。また、運転手不足が深刻となっている。安定的な運行のため、契約期間を長くするなどしてほしい。

○吉岡委員（名鉄バス(株)）

- ・当社の合併経緯には人手不足もある。ふれんどバスの碧南高校延伸など、利用しやすい運行をしていきたい。

○加藤委員（名鉄東部交通(株)）

- ・路線廃止により迷惑をかけるが、タクシー事業に力を入れ、運転免許証返納者の足を確保できるよう努めたい。また、西尾地区のユニバーサルデザインタクシーを10台増やす予定のため、タクシーの有効活用をしてほしい。

○早川委員（東伸運輸(株)）

- ・バス事業に取り組み20年になるが、これからも安全第一に運行していきたい。また、バス交通再編に向け、新しいことにも取り組んでいきたい。

○松尾副会長

- ・西尾市は鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーとバラエティ豊かな公共交通だと思う。民生委員などとの協力体制を生かして再編を進めてほしい。

○石原会長

- ・西尾市は山、川、海、島がある。各地域の特徴を踏まえて電車、バス、タクシーを上手に活用した交通体系を作りたい。

○山崎副会長

- ・意見交換会などを通、市民の生の声を伺い公共交通ネットワークを築きたい。また、公共交通に「乗る文化、乗る癖」をPRしていきたい。

4 閉会

以上